①自己紹介



■氏 名:山下紘史

■着任日 :令和6年6月1日

■所 属 :市内全域

- ■着任前までの経験と移住経緯
 - ・実は大学はマスコミ学科&写真部
 - ·第一種電気工事士
 - ·広島空港 消防職員
- ・海と川と空港のある街、三原が魅力的で台湾人パートナーと移住を決意台湾と広島の文化交流、観光、魅力発信をしていきたい





「個人ガイドの基盤作り」

- 1)アクションプラン:ガイドに必要な地理の把握とアテンドポイントの発掘
- →個別振り返り: イベントやお祭りなどを集めた データをもとにガイドの際の引出しを増やす。
 - 2)アクションプラン: SNS、PR活動 (台湾向け)
- →個別振り返り: インスタ、FBを活用しガイド業の予約アイテム、三原の生活の配信を軸にガイド業のPR活動。
 - 3)アクションプラン:言語学習とAIの活用
- →個別振り返り:台湾華語の自主学習とガイドの際のアテンド説明にAIを活用
 - 4)アクションプラン:台湾人ガイドトライアル
- →個別振り返り:友人の台湾人を三原に招き実際 にガイドとゲストハウスのトライアルとして自宅の古 民家に招き、三原周辺の観光アテンド、瀬戸内海芸術 祭のアテンドを行った。







「三原地域振興活動」

- ※三原の観光人口を増やす活動
 - 1)アクションプラン:古民家住居のゲストハウス化
- →個別振り返り:改装と住宅周辺の清掃、整備活動、周辺と家主への許可取りの実施
 - 2)アクションプラン:駅周辺グルメマップ制作
- →個別振り返り:観光課との連携活動で駅周辺のグルメマップ制作と三原のホテル10軒への配布(1200部)
 - 3)アクションプラン:イベント出店活動
 - →個別振り返り:半ドン夜市出店
 - 4)アクションプラン:海上タクシー、観光クルーズ事業のお手伝い
- →個別振り返り:尾道マリンタクシーで事業のお手伝いを進行中。海上タクシーのスキルや経験を身に着け将来的に三原でも海上タクシー、観光クルーズを展開していきたい。



1)アクションプラン:古民家住居のゲストハウス化



令和7年度 三原市地域おこし協力隊 9月活動報告会



2)アクションプラン:駅周辺グルメマップ制作



FM三原で紹介





3)アクションプラン:イベント出店活動

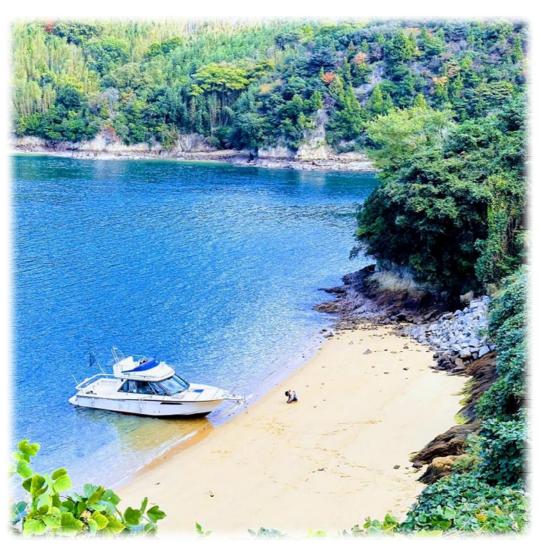


半ドン夜市出店・シェアキッチンおかって





4)アクションプラン:海上タクシー、観光クルーズ事業のお手伝い





③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと



■挑戦したいこと(任期後のキャリアイメージ)

ガイド事業設立を目標にカフェ事業、ゲストハウス事業、海上タクシー事業を三原で企画、運営に挑戦していく!

海上タクシー 観光クルーズ事業

台湾人向けガイド事業 開業

イベント出店の拡張 (仮)カフェ店舗設立

自宅のゲストハウス化

④2025年9月に向けてのチャレンジ宣言



「ガイド業の事業化とカフェ・交流スペースの設立」

⑤2025年4月~活動報告(成果と課題)



2025年9月に向けてチャレンジ宣言

「ガイド業の事業化とカフェ・交流スペースの設立」

→【半年間の活動振り返り : 50%】

この半年間のアクションを振り返ります。

- 1)アクションプラン:個人ガイドの基盤作り
- →個別振り返り【60%】: 2025年瀬戸内海芸術祭の開催に伴い台湾人観光客が中国地方に旅行に来るキッカケが多く 3組の台湾人をガイドし意見交換やアドバイスを貰うことができた。
 - 2)アクションプラン:古民家住居のゲストハウス化
- →個別振り返り【70%】: 古民家という事で補修箇所の修繕や住宅以外の庭部分のスペースの管理、清掃をしこの半年の間に家主の許可、周辺住民の理解を得てこれからゲストハウス化していく。
 - 3)アクションプラン:イベント出店活動
 - →個別振り返り【30%】:半どん夜市へ出店し地域の方達との交流も図れたがもっと多くのイベントに出店できればなおよい
- 4)アクションプラン:海上タクシー、観光クルーズ事業のお手伝い
- →個別振り返り【50%】:海のスキルや経験が安全に直結する事業の為、スキル向上と三原でのクルーズ事業に進展させる 為にはまだまだ経験が必要。

⑤-1)2025年4月~活動報告(成果と課題)



1)アクションプラン:個人ガイドの基盤作り

→個別振り返り【60%】

2025年瀬戸内海芸術祭の開催に伴い台湾人観光客が中国地方を旅行地に選ぶことも増え、三原を拠点にアテンドポイントを選定し半年で3組の台湾人をボランティアの形でアテンドさせてもらい意見交換やアドバイスを頂いた。

課題:アテンドには高度な言語が必要な場合が多くありそういった場面では語学不足を痛感した。 代替手段としてAIを活用し観光案内をAIに喋ってもらったり翻訳ツールとして活用した。

⑤-2)2025年4月~活動報告(成果と課題)



- 2)アクションプラン:古民家住居のゲストハウス化
- →個別振り返り【70%】

協力隊就任時から自宅として修繕、整備をしてきたが自宅としてだけではなく観光客が集えるような場所にしたい気持ちがあり、自宅兼ゲストハウスとして利用できるよう周辺地域や周辺環境の整備に取り組んだ。家主の許可もいただきこれから本格的に営業許可を取りに行く作業をしていく予定。

課題:二階部分の床面や壁などまだ完成していない部分があるため引き続き作業を進める。

⑤-3)2025年4月~活動報告(成果と課題)



3)アクションプラン:イベント出店活動

→個別振り返り【30%】:地域住民との交流活動 の一環として半どん夜市へ出店した。 様々な方と交流がとれた。 課題:もっと多くのイベントに出店するべきだった。 今後は本町に新たに店舗を構え週3日程度でカ フェかBARのような形で出店を計画している。

⑤-4)2025年4月~活動報告(成果と課題)



- 4)アクションプラン:海上タクシー、観光クルーズ事業の お手伝い
- →個別振り返り【50%】:海のスキルや経験が安全に直 結する事業の為、スキル向上と三原でのクルーズ事業に 進展させる為にはまだまだ経験が必要。

課題:現在営業中の尾道マリンタクシー事業を販路拡大として三原でも許可取りと営業許可を取る必要があり、尚且つ将来的に自分自身でも船長の一人として船を増やし運営していきたい為資格取得や船の知識など多くのスキルがまだまだ足りていない為今後も引き続きお手伝いを続け将来的に事業展開していきたい。

⑦次回(2026年3月予定)個別報告会に向けて



次回活動報告会(2026年3月)に向けてチャレンジ宣言

「本町の店舗改修と店舗オープン各アクションプランの進行」

⑧次回(2026年3月予定)活動報告会に向けて



次回活動報告会(2026年3月)に向けてチャレンジ宣言

「本町の店舗改修と店舗オープン各アクションプランの進行」

その為に、この半年間で以下のアクションを実施します。

1)アクションプラン:

店舗改修を行い、カフェ、BARのオープンを目指す!

2)アクションプラン:

進行中のアクションプランの進行%を上げ掲げた目標を確実に実行に移す!